

能登島ガラスコレクション

# 新収蔵品展

Notojima Glass Collection "New Acquisitions: Forms of Glass"

ガラスの  
カタチ

2017年10月28日(土) — 2018年4月15日(日)

9:00—17:00 (12月から3月は9:00—16:30/入館は閉館の30分前まで)

 石川県能登島ガラス美術館  
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

- 休館日：2017年11月21日(火)、12月19日(火)  
12月29日(金)~2018年1月1日(月・祝)  
1月16日(火)~1月19日(金)、2月20日(火)、3月20日(火)
- 入館料：個人(高校生以上)800円/団体(20名以上)700円/中学生以下は無料
- 主催：石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

能登島ガラスコレクション

# 新収蔵品展 ガラスのカタチ

Notojima Glass Collection "New Acquisitions: Forms of Glass"

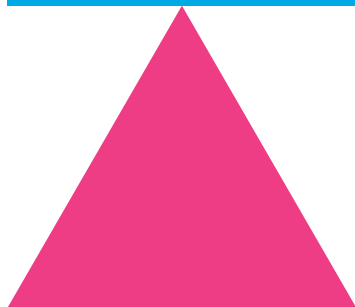
石川県能登島ガラス美術館では、平成25年度から平成28年度の4年間で、寄贈・購入作品あわせて83点のガラス造形作品を新たに収蔵しました。日本におけるガラス芸術の先駆者である岩田藤七、日本の美意識を反映させた「飾篭」シリーズで世界的にも高い評価を得た藤田喬平の作品をはじめ、現在も第一線で活動する現代ガラス工芸作家、また、今後の活躍が期待される若手作家による作品が加わりました。

ガラスは、高温で水あめのように柔らかな状態となり、自在にかたちを変える一方で、冷えて固まると光を透過・反射させる物質へと変化します。このようなガラス特有の性質と向き合いながら、作家たちは私たちの認識を超えるガラスの姿を生み出しています。

本展では、新たに収蔵した現代ガラス作品を中心に、“ガラスのカタチ＝ガラスの多様な表現”について紹介します。



1



2



3



4



5



6



7

1.存在の痕跡／津守秀憲／2016年 2.Chernobyl - Fukushima／バヴェル・ヴォイニトスキー／2015年 3.風に向かって／小林貢／2002年 4.Natural Lace／塚田美登里／2016年  
5.No.120428／イワタリ／2012年 6.「小文間の植物」シリーズ2013-02／藤原信幸／2013年 7.飾篭「瑞雲」／藤田喬平／1993年頃 \*1~7全て石川県能登島ガラス美術館蔵 撮影：岡村喜知郎

## 石川県能登島ガラス美術館



### 会期中のイベント

#### 冬はガラ美でほっこり！ガラス彫刻体験

●日 時 12月～2月の毎週土・日曜日 \*1月2日(火)、3日(水)は、10:00～12:00、13:30～15:30  
土曜日 13:30～15:30 / 日曜日 10:00～12:00

●所要時間 約30分

●参加費 500円(高校生以上は別途入館料必要)

●対象 子どもから大人までどなたでも

交通案内 ●電車・バス：JR金沢駅から和倉温泉駅まで特急列車で約1時間。駅前から能登島交通「のとしま臨海公園ゆき」バスで約30分、「美術館前」下車すく。  
●車：金沢方面から…のと里山海道・徳田大津JCTを經由、能越自動車道・和倉ICから約20分。  
富山方面から…能越自動車道・水見ICを經由、七尾ICから約35分。  
●飛行機：のと里山空港から車で約1時間。